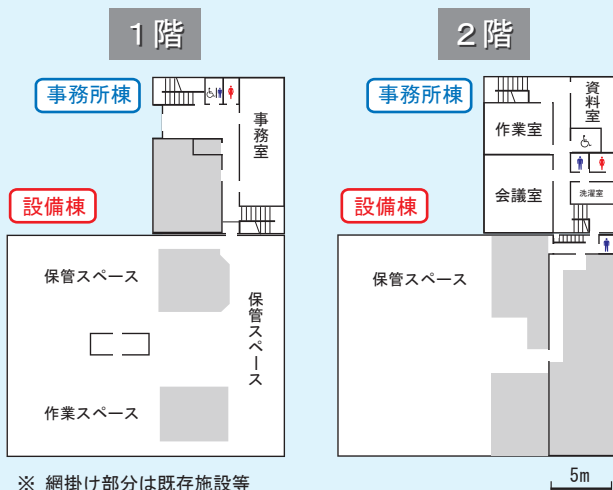


## 施設のあらまし

平成23年3月末に用途廃止したごみの中継施設(天白中継所)を有効活用し、自然共生まちづくりの拠点を設置しました。



## 「なごや生物多様性センター」

**場所** 〒468-0066  
名古屋市天白区元八事五丁目230番地

**TEL** 052-831-8104 **FAX** 052-839-1695

**E-mail** bdnagoya@kankyokyouku.city.nagoya.lg.jp

**業務時間** 祝休日・年末年始を除く8:45～17:30

**URL** <http://www.city.nagoya.jp>

「なごや生物多様性センター」で検索



**交通案内** 地下鉄鶴舞線「塩釜口」下車  
2番または3番出口から徒歩5分

## 市民生きもの調査員を募集しています

センターでは、市民協働により生きものの調査などの活動を行っています。

この活動にご参加くださる「なごや市民生きもの調査員」を募集しています。



市民との協働による池干しの様子

# なごや 生物多様性 センター



名古屋市環境局

## センター設立の背景と役割

### 背景

名古屋市では、都市化の進展に伴い、市街地の拡大や外来生物の侵入などによって生物多様性が失われてきました。一方、自然環境を保全する市民の活動は地道に行われてきました。

2008年から3年間、市民・専門家・行政が協働で市内10ヵ所のため池の生物調査などに取り組みました。その結果、まだまだ多くの在来生物が生息・生育していること、外来生物が著しく増加していることが確認されました。

2010年10月に愛知・名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の理念と成果を継承し、同年3月に策定した「生物多様性2050なごや戦略」を推進する拠点として、2011年9月に「なごや生物多様性センター」を設立しました。

### 役割

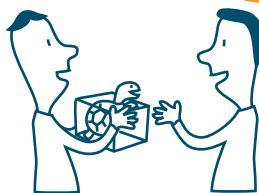
センターでは、なごやの生きものに関する情報を次世代に伝えるために収集・発信を行うとともに、市民・専門家・行政の協働によるなごやの身近な自然の調査・保全活動を推進していきます。



### 生物多様性2050なごや戦略

自然と共生する持続可能な都市を目指し、「身近な自然の保全・再生」と「生活スタイルの転換」の観点から、2050年に向けたビジョンと4つの戦略を示しています。

## しごとのあらし



### 生きもの情報の収集・発信

- ・標本や文献などの資料・情報を集めます。
- ・生きもの情報を発信し、啓発をおこないます。
- ・生きものデータベースを作成します。
- ・講演会・講習会(実習含む)・報告会などを開催します。
- ・資料などを研究目的での使用のために提供します。

### 市民と協働での生きもの調査

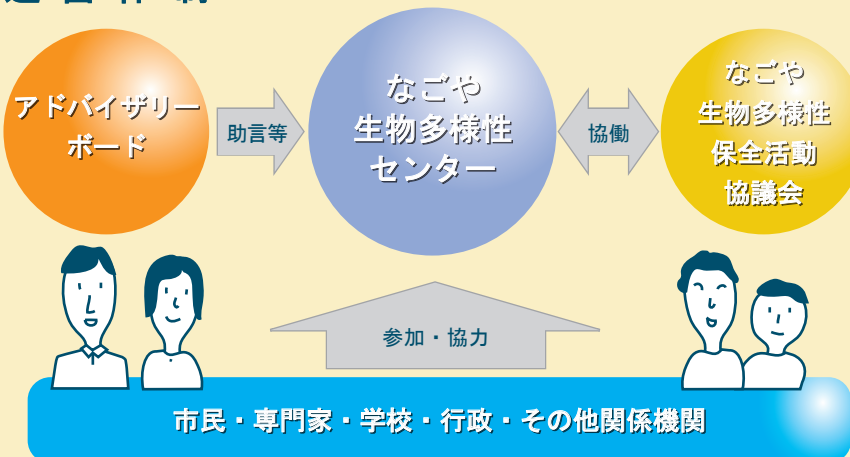
- ・なごやに生息・生育する生きものとその環境を市民と協働で調査します。
- ・特定の生きものについて、市民一斉調査を実施します。
- ・レッドリスト・レッドデータブックを作成します。
- ・希少な動植物などの在来生物やその生息・生育環境の保全に向けた活動をおこないます。



### 連携・交流とネットワークづくり

- ・研究機関や大学などとの相互協力を進めます。
- ・なごや生物多様性保全活動協議会や他の団体などとの情報交流・活動の連携を進めます。
- ・調査・保全に取り組む市民活動団体などの活動を支援します。

## 運営体制



### アドバイザーボード

＜学術・教育・協議会・市民によるセンターの助言機関＞

- ・センターの運営、活動など重要事項に関する助言
- ・センターが収集する標本や資料等の検証及び認定に関すること

### なごや生物多様性保全活動協議会

＜市民・専門家・行政の協働組織＞

- ・調査・保全活動に関する計画と実施